

## 平成18年度 旭市国民健康保険事業特別会計予算（事業勘定）の概要

### 1. 予算規模

平成18年度当初予算額	6,966,000千円
平成17年度当初予算額（同年ベース）	7,101,198千円
比 較	△135,198千円（1.9%減）

平成18年度予算は、合併協議に基づき税率等の統一を行うとともに、三位一体改革による財源の振り替え、医療保険制度改革による診療報酬等のマイナス改定を見込み編成し、歳入不足額については、財政調整基金から219,000千円を繰り入れることとした。

歳出総額のうち医療分は6,268,566千円で対前年度2.9%の減、介護分は647,434千円で対前年度0.1%の増である。

### 2. 歳 入

(1) 国民健康保険税医療給付費分は、2,537,108千円で、対前年度102,094千円、3.9%の減を見込んだ。税率は、所得割100分の8、資産割100分の40、均等割15,000円、平等割20,000円、課税限度額は53万円である。

国民健康保険税介護納付金分は、281,073千円で、対前年度49,158千円、21.2%の増を見込んだ。税率は、所得割100分の1.2、均等割12,000円、課税限度額は8万円である。

(2) 国庫支出金は、2,353,075千円で、対前年度286,292千円、10.8%の減を見込んだ。内訳は、療養給付費等負担金に保険給付費等の34%として1,913,876千円、対前年度348,334千円、15.4%の減を見込み、高額医療費共同事業負担金に48,652千円、普通調整交付金に380,547千円、特別調整交付金に10,000千円を計上した。

(3) 退職者医療にかかる療養給付費交付金は、519,910千円で、対前年度32,696千円、5.9%の減を見込んだ。

(4) 県支出金は、調整交付金を新たに見込み、大幅増の394,877千円を計上した。内訳は、高額医療費共同事業負担金に48,652千円、新規に計上した調整交付金は、普通調整交付金に319,592千円、特別調整交付金に26,633千円を見込んだ。

(5) 繰入金は、一般会計繰入金として、保険基盤安定繰入金に172,940千円、職員給与費等繰入金に48,853千円、出産育児一時金等繰入金に50,000千円、財政安定化支援事業繰入金に39,037千円を計上し、財政調整基金からの繰入金は219,000千円を計上した。

(6) その他の収入は、共同事業交付金に136,741千円、繰越金に200,001千円、諸収入等に13,385千円を計上した。

### 3. 歳 出

(1) 総務費は、事務費等として58,853千円、対前年度32,647千円、35.7%の減を見込んだ。

(2) 保険給付費は、4,895,673千円で、対前年度100,023千円、2.1%の増を見込んだ。

(3) 老人保健拠出金は、1,080,777千円で、対前年度152,957千円、12.4%の減を見込んだ。

(4) 介護納付金は、647,434千円で、対前年度575千円、0.1%の増を見込んだ。

(5) 共同事業拠出金は、194,612千円、対前年度4,178千円、2.2%の増を見込んだ。

(6) 保健事業費は、短期人間ドック事業、健康優良家庭表彰事業、国保保健指導事業等として31,360千円、対前年度2,716千円、9.5%の増を見込んだ。

(7) その他の支出は、基金積立金に2千円、公債費に1千円、諸支出金に7,288千円、予備費に50,000千円を計上した。